

平成 24 年 度

審 査 意 見 書

庄内町水道事業会計決算

庄内町ガス事業会計決算

庄 内 町 監 査 委 員

監 発 第 25 号
平成 25 年 7 月 11 日

庄内町長 原 田 眞 樹 殿

庄内町代表監査委員 齋 藤 昌 史
庄内町監査委員 小 林 清 悟

平成 24 年度庄内町企業会計の決算審査意見について

平成 25 年 5 月 30 日付総発第 101 号をもって、地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された、平成 24 年度庄内町水道事業会計及び庄内町ガス事業会計の決算について審査したので、次のとおり意見書を提出する。

目 次

平成 24 年度庄内町企業会計決算審査に関する説明書

1	審査の概要	1
2	審査の結果	1
3	平成 24 年度庄内町水道事業会計	2
3-1	決算の状況《総括》	2
3-2	損益計算書(消費税抜き)	4
3-3	資本的収入及び支出(消費税込み)	6
3-4	業務実績と経営分析	7
3-5	貸借対照表	10
3-6	水道事業財務分析	12
4	平成 24 年度庄内町ガス事業会計	14
4-1	決算の状況《総括》	14
4-2	損益計算書(消費税抜き)	16
4-3	資本的収入及び支出(消費税込み)	18
4-4	業務実績と経営分析	19
4-5	貸借対照表	22
4-6	ガス事業財務分析	24
5	水道事業のむすび	26
6	ガス事業のむすび	28

平成 24 年度庄内町企業会計決算審査意見書

1 審査の概要

(1) 審査の対象

- ① 平成 24 年度庄内町水道事業会計決算
- ② 平成 24 年度庄内町ガス事業会計決算

(2) 審査の期間

平成 25 年 6 月 5 日～平成 25 年 6 月 28 日

(3) 審査の手続

審査にあたっては、提出された決算書類が各事業の財務状態及び経営成績を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計簿、証拠書類との照合を行い、必要と認めるその他の審査手続を実施した。

2 審査の結果

(1) 平成 24 年度庄内町水道事業会計

平成 24 年度庄内町水道事業会計決算について、決算報告書、財務諸表及び附属書類を関係帳票書類と照合審査を行った結果、地方公営企業関係法令に準拠して作成されており、計数も正確で、経営成績及び財務状態を的確に表示しており、適正な決算と認めた。

(2) 平成 24 年度庄内町ガス事業会計

平成 24 年度庄内町ガス事業会計決算について、決算報告書、財務諸表及び附属書類を関係帳票書類と照合審査を行った結果、地方公営企業関係法令に準拠して作成されており、計数も正確で、経営成績及び財務状態を的確に表示しており、適正な決算と認めた。

3 平成 24 年度庄内町水道事業会計

3-1 決算の状況《総括》

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の決算状況は、決算報告書によれば、収入 564,777,715 円に対し、支出が 531,828,577 円となっている。

また、これを損益計算書によれば、収入 538,485,040 円、支出 511,189,124 円となり、収支差引 27,295,916 円の当年度純利益の決算となっている。

予算額に対する執行率は、収益的収入が 99.1%、収益的支出が 93.4%である。

上段：決算報告書による（消費税込み）

下段：損益計算書による（消費税抜き）（単位：円）

<収益的収支>

区 分		決 算 額	区 分		決 算 額	差 引 額
収 益 的 収 入		564,777,715	収 益 的 支 出		531,828,577	32,949,138
		538,485,040			511,189,124	27,295,916
営 業 収 益	給 水 収 益	548,507,524	営 業 費 用	原 水 費	214,330,981	
		522,388,111			204,124,750	
	受 託 工 事 収 益	0		配 水 及 び 給 水 費	83,738,078	
		0			81,726,783	
	そ の 他 営 業 収 益	13,001,470		受 託 工 事 費	0	
		12,903,224			0	
				総 係 費	37,912,226	
					37,329,766	
				減 価 償 却 費	126,787,195	
					126,787,195	
		資 産 減 耗 費	13,306,662			
			13,306,662			
小 計		561,508,994	小 計		476,075,142	85,433,852
		535,291,335			463,275,156	72,016,179
営 業 外 収 益		3,241,736	営 業 外 費 用		55,595,996	△52,354,260
		3,167,997			47,763,922	△44,595,925
特 別 利 益		26,985	特 別 損 失		157,439	△130,454
		25,708			150,046	△124,338
差引当年度純利益						27,295,916

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算状況は、決算報告書によれば、収入 73,229,317 円に対し支出が 233,529,355 円となっており、160,300,038 円の収入不足額が生じている。

その不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 5,494,493 円、過年度分損益勘定留保資金 36,428,733 円及び当年度分損益勘定留保資金 118,376,812 円で補てんされている。

予算額に対する執行率は資本的収入が 100.0%、資本的支出が 97.2%である。

<資本的収支>

決算報告書による (消費税込み) (単位:円)

区 分	決 算 額	区 分	決 算 額	差 引 額
資 本 的 収 入	73,229,317	資 本 的 支 出	233,529,355	△160,300,038
企 業 債	72,000,000	建 設 改 良 費	115,580,230	
補 助 金	200,000	企 業 債 償 還 金	117,949,125	
負 担 金	1,029,317	予 備 費	0	
差 引 当 年 度 資 金 不 足 額		160,300,038		

3-2 損益計算書（消費税抜き）

損益計算書による総収益は538,485,040円、総費用は511,189,124円で差引27,295,916円の純利益となっている。

<損益計算書>

(単位：円)

<収 益>			<費 用>		
1 営業収益		535,291,335	1 営業費用		463,275,156
給水収益	522,388,111		原水費	204,124,750	
受託工事収益	0		配水及び給水費	81,726,783	
その他営業収益	12,903,224		受託工事費	0	
			総係費	37,329,766	
			減価償却費	126,787,195	
			資産減耗費	13,306,662	
2 営業外収益		3,167,997	2 営業外費用		47,763,922
加入金	965,000		支払利息	47,734,032	
受取利息	545,786		雑支出	29,890	
補助金	1,140,000				
雑収益	517,211				
3 特別利益		25,708	3 特別損失		150,046
過年度損益修正益	25,708		過年度損益修正損	149,946	
			その他特別損失	100	
当年度純損失		—	当年度純利益		27,295,916
合 計		538,485,040	合 計		538,485,040

<比較損益計算書>

(単位：円、%)

年度 区分	平成24年度		平成23年度	
	金額	対前年度 増減率	金額	対前年度 増減率
経常損益の部	27,420,254	△9.1	30,177,533	△26.0
営業損益の部	72,016,179	△8.5	78,723,901	△15.2
営業収益				
給水収益	522,388,111	△0.5	525,259,565	0.6
受託工事収益	0	—	0	—
その他 営業収益	12,903,224	10.7	11,653,732	△6.6
計	535,291,335	△0.3	536,913,297	0.4
営業費用				
原水費	204,124,750	△1.2	206,550,438	2.2
配水及び給水費	81,726,783	△4.8	85,863,201	15.4
受託工事費	0	—	0	—
総係費	37,329,766	47.5	25,307,549	△3.2
減価償却費	126,787,195	△2.6	130,222,375	△0.5
資産減耗費	13,306,662	29.9	10,246,643	25.0
計	463,275,156	1.1	458,190,206	3.7
営業外損益の部	△44,595,925	8.1	△48,545,558	6.7
営業外収益				
加入金	965,000	0.5	960,000	129.5
受取利息	545,786	534.1	86,069	△53.5
負担金	0	—	0	—
補助金	1,140,000	34.4	848,000	1,184.8
雑収益	517,211	1,168.6	40,770	△91.0
計	3,167,997	63.7	1,934,839	72.1
営業外費用				
支払利息	47,734,032	△5.4	50,480,397	△5.1
雑支出	29,890	皆増	0	—
計	47,763,922	△5.4	50,480,397	△5.1
特別損益の部	△124,338	△214.0	△39,603	64.4
特別利益	25,708	皆増	0	△100.0
特別損失	150,046	278.9	39,603	△65.6
総収益	538,485,040	△0.1	538,848,136	0.6
総費用	511,189,124	0.5	508,710,206	2.8
当年度純利益	27,295,916	△9.4	30,137,930	△25.9

3-3 資本的収入及び支出（消費税込み）

資本的収支の状況を見ると、収入は73,229,317円で内容は企業債72,000,000円、補助金200,000円と負担金の1,029,317円となっている。支出は233,529,355円で内容は建設改良費115,580,230円と企業債償還金の117,949,125円となっている。

<資本的収支の構成>

(単位：円、%)

区分	年度	平成24年度		平成23年度		備考
		金額	構成比	金額	構成比	
資本的収入	企業債	72,000,000	98.3	0	0.0	
	補助金	200,000	0.3	0	0.0	
	負担金	1,029,317	1.4	0	0.0	
	固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0	
	計	73,229,317	100.0	0	0.0	
資本的支出	建設改良費	115,580,230	49.5	25,077,150	17.6	
	企業債償還金	117,949,125	50.5	117,720,936	82.4	
	計	233,529,355	100.0	142,798,086	100.0	
差引		△160,300,038		△142,798,086		

建設改良費は構築物と車輛運搬具であり、配水管工事延長が4,889.1mで自動車購入（リサイクル料金含む）が1台となっている。

<主な建設改良工事関係>

(単位：件、m、円)

分類	件数	延長	工事費
配水管新設工事	2	3,141.8	72,082,500
配水管入替工事	6	1,694.7	38,787,000
配水管移設工事	1	52.6	1,407,000
計	9	4,889.1	112,276,500

<自動車購入関係>

(単位：台、円)

分類	台数	購入費
給水タンク積載用自動車	1	3,303,730

3-4 業務実績と経営分析

(1) 業務実績

業務実績は全体的に改善が見られる。

〈業務実績の推移〉

対前年度増減率(単位:%)

区 分		年 度	単 位	平成24年度	平成23年度	対前年度 増減率	備 考	
年度末行政区域内人口			人	22,896	23,132	△1.0		
" 給水区域内人口			人	22,052	22,339	△1.3		
" 給水人口			人	21,777	22,048	△1.2		
計画給水人口			人	27,200	27,200	0.0		
普及率(対行政区域内人口)			%	95.1	95.3	—		
普及率(対給水区域内人口)			%	98.8	98.7	—		
年度末給水戸数			戸	6,608	6,611	△0.0		
年度末給水件数			件	7,440	7,468	△0.4		
配 水 量	年間総配水量		m ³	2,857,648	2,908,751	△1.8		
	有 効 水 量	有収水量		m ³	2,573,527	2,570,220	0.1	
		無収水量		m ³	14,338	14,804	△3.1	
	無効水量		m ³	269,783	323,727	△16.7		
	1日平均配水量		m ³	7,829	7,947	△1.5		
	1日最大配水量		m ³	10/18 9,770	8/12 9,810	△0.4		
	1ヶ月1戸平均配水量		m ³	36.0	36.7	△1.9		
有効率		%	90.6	88.9	—			
1日平均有収水量		m ³	7,051	7,022	0.4			
配水管延長		m	206,234	203,047	1.6			
職員数(損益勘定所属)		人	7	5	40.0			
有収率		%	90.1	88.4	—			

(2) 経営分析

<施設の効率性>

区 分			平成24年度	平成23年度	平成23年度 類似団体平均
有 収 率	%	(年間総有収水量/年間総配水量)×100	90.1	88.4	86.0
負 荷 率	%	(1日平均配水量 / 1日最大配水量)×100	80.1	81.0	81.4
施 設 利 用 率	%	(1日平均配水量 / 1日の最大給水量)×100	50.8	51.6	56.3
最 大 稼 働 率	%	(1日最大配水量 / 1日の最大給水量)×100	63.4	63.7	69.1
配 水 管 使 用 効 率	m ³ /m	年間総配水量 / 配水管延長	13.9	14.3	12.3
固 定 資 産 使 用 効 率	m ³ /万円	年間総配水量 / 有形固定資産	4.9	5.0	6.0

※ 1日の最大給水量=15,402 m³
(庄内町公営企業の設置等に関する条例より)

<生産性>

区 分			平成24年度	平成23年度	平成23年度 類似団体平均
職員1人当たり給水人口	人	現在給水人口 / 損益勘定職員数	3,111	4,410	3,449
職員1人当たり有収水量	m ³	年間総有収水量 / "	367,647	514,044	354,109
職員1人当たり営業収益	千円	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	76,470	107,383	77,071
有収水量1万m ³ /日当たり職員数	人	$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{有収水量}(1\text{万m}^3/\text{日})}$	9.9	7.1	10.0

<供給単価と給水原価の比較>

区 分			平成24年度	平成23年度	平成23年度 類似団体平均
供 給 単 価	円 / m ³	給水収益 / 年間総有収水量	202.99	204.36	212.09
給 水 原 価	円 / m ³	費用 (除く受託工事費) / "	198.58	197.91	225.38
供 給 単 価	— 給 水 原 価		4.41	6.45	△13.29

(3) 費用分析

給水原価1 m³当たりの費用構成を見ると、職員給与費が22.52円、構成比で11.34%であり、支払利息、減価償却費、資産減耗費の固定資産に関する費用では72.99円、構成比で36.75%であり、受水費は79.32円の構成比で39.94%となっている。

費用全体では1 m³当たりの給水原価は198.58円となっている。

<給水原価1 m³当たりの費用構成>

(単位：円、%)

年度 区分		平成24年度			平成23年度					
		費用	構成比	給水原価 (1 m ³ 当)	費用	構成比	給水原価 (1 m ³ 当)			
職員 給 与 費	基本給	28,935,936	5.66	11.24	19,151,736	3.77	7.46			
	手当	13,536,489	2.65	5.26	10,469,790	2.06	4.08			
	法定福利費	15,487,850	3.03	6.02	10,302,054	2.02	4.00			
	計	57,960,275	11.34	22.52	39,923,580	7.85	15.54			
固 定 資 産 費	支払利息	47,734,032	9.34	18.55	50,480,397	9.92	19.63			
	(うち企業債利息)	(47,734,032)	(9.34)	(18.55)	(50,480,397)	(9.92)	(19.63)			
	減価償却費	126,787,195	24.81	49.27	130,222,375	25.60	50.66			
	資産減耗費	13,306,662	2.60	5.17	10,246,643	2.02	4.00			
	計	187,827,889	36.75	72.99	190,949,415	37.54	74.29			
賃	金	4,694,779	0.92	1.82	4,649,580	0.91	1.80			
委	託	料	13,027,335	2.55	5.06	13,542,364	2.66	5.26		
動	力	費	3,854,170	0.75	1.50	3,435,306	0.68	1.35		
修	繕	費	24,496,898	4.79	9.52	35,068,051	6.89	13.64		
材	料	費	35,700	0.01	0.01	140,900	0.03	0.06		
薬	品	費	126,600	0.03	0.05	156,950	0.03	0.06		
路	面	復	旧	費	748,022	0.15	0.29	378,736	0.07	0.14
受	水	費	204,124,750	39.94	79.32	206,550,438	40.61	80.37		
そ	の	他	14,142,660	2.77	5.50	13,875,283	2.73	5.40		
費	用	合	計	511,039,078	100.0	198.58	508,670,603	100.0	197.91	

※費用に受託工事費、附帯事業費、材料売却原価、特別損失は含まない。

3—5 貸借対照表

(1) 資 産

資産合計は 6,170,826,678 円となっており、このうち固定資産は 5,839,472,937 円、流動資産は 331,353,741 円となっている。

<貸借対照表及び構成比率>

(単位：円、%)

年 度 科 目	平成 24 年度		平成 23 年度		対前年度 増 減 率
	金 額	構成比	金 額	構成比	
土 地	12,191,831	0.2	12,191,831	0.2	0.0
建 物	55,771,761	0.9	57,939,824	1.0	△3.7
構 築 物	5,675,540,624	92.0	5,699,746,397	92.4	△0.4
機 械 及 び 装 置	85,163,505	1.4	90,408,630	1.5	△5.8
車 輛 運 搬 具	3,468,175	0.0	703,360	0.0	393.1
工 具 器 具 及 び 備 品	7,328,211	0.1	8,373,142	0.1	△12.5
建 設 仮 勘 定	0	0.0	0	0.0	—
そ の 他 投 資	8,830	0.0	0	0.0	皆増
固 定 資 産 合 計	5,839,472,937	94.6	5,869,363,184	95.2	△0.5
現 金 ・ 預 金	306,100,315	5.0	275,134,680	4.4	11.3
未 収 金	20,285,097	0.3	17,414,678	0.3	16.5
貯 蔵 品	4,968,329	0.1	4,980,449	0.1	△0.2
流 動 資 産 合 計	331,353,741	5.4	297,529,807	4.8	11.4
資 産 合 計	6,170,826,678	100.0	6,166,892,991	100.0	0.1

(2) 負債

負債合計は 79,525,227 円である。

(3) 資本

資産合計から負債合計を差し引いた正味財産（資本合計）は 6,091,301,451 円である。

当年度純利益 27,295,916 円に前年度繰越利益剰余金 443,269 円を加え、当年度末処分利益剰余金 27,739,185 円が計上されている。

(単位：円、%)

年度 科目	平成24年度		平成23年度		対前年度 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
修繕引当金	26,927,382	0.4	26,927,382	0.4	0.0
未払金	52,567,481	0.9	31,190,772	0.5	68.5
預り金等	30,364	0.0	49,494	0.0	△38.7
負債合計	79,525,227	1.3	58,167,648	0.9	36.7
固有資本金	13,353,662	0.2	13,353,662	0.2	0.0
繰入資本金	874,823,495	14.2	874,823,495	14.2	0.0
組入資本金	523,175,821	8.5	523,175,821	8.5	0.0
企業債	2,040,723,616	33.1	2,086,672,741	33.8	△2.2
補助金	1,410,217,741	22.9	1,410,017,741	22.9	0.0
負担金	902,696,461	14.6	901,667,144	14.6	0.1
受贈財産評価額	25,670,941	0.4	25,670,941	0.4	0.0
減債積立金	18,308,898	0.3	16,308,898	0.3	12.3
建設改良積立金	254,591,631	4.1	226,591,631	3.7	12.4
前年度繰越利益剰余金	443,269	0.0	305,339	0.0	45.2
当年度純利益	27,295,916	0.4	30,137,930	0.5	△9.4
資本合計	6,091,301,451	98.7	6,108,725,343	99.1	△0.3
負債資本合計	6,170,826,678	100.0	6,166,892,991	100.0	0.1

3—6 水道事業財務分析

財務の健全性では23年度と比較すると自己資本構成比率は0.4ポイント上昇、自己資本金構成比率は同じであり借入資本金構成比率は0.7ポイント下降し、財務の健全化に近づいているといえる。

一方、営業収益対営業費用比率は業務活動の能率を示し、高いほど事業の収益性を表すといわれるが、23年度と比較すると1.7ポイント下降、総収支比率も23年度より0.6ポイント下降しており、いずれも100%を上回っているが、事業の収益性は低下している。

また、低い方が経営の安定性を表すと言われる企業債償還元金対減価償却費比率も2.6ポイント上昇している。

なお、累積欠損金比率は発生していない。

<財務分析比率の推移>

(単位：%)

分析項目		算式	平成24年度	平成23年度
財務の健全性	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$	65.6	65.2
	自己資本金構成比率	$\frac{\text{自己資本金}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$	22.9	22.9
	借入資本金構成比率	$\frac{\text{借入資本金}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$	33.1	33.8
事業の安全性	流動資産対固定資産比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{固定資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	5.7	5.1
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	144.2	145.9
	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$	95.4	95.7
	負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	2.0	1.4
	流動負債比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	1.3	0.8
事業収益性	営業収益対営業費用比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	115.5	117.2
	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	105.3	105.9
その他	利子負担率	$\frac{\text{支払利息}}{\text{借入金} + \text{借入資本金}} \times 100$	2.3	2.4
	企業債償還元金対減価償却費比率	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$	93.0	90.4
	累積欠損金比率	$\frac{\text{累積欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$	0.0	0.0

【資料】

水道料金の収納状況

(単位：円)

項目		平成24年度		平成23年度	
調 定 額	現 年 度 分	548,507,524		551,522,543	
	過 年 度 分	13,159,905		13,763,823	
	計	561,667,429		565,286,366	
収 入 済 額	現 年 度 分	538,584,843		541,142,174	
	過 年 度 分	10,819,304		10,829,358	
	計	549,404,147		551,971,532	
不 納 欠 損 額		件	円	件	円
		2	2,100	9	13,361
未 収 入 額	現 年 度 分	件	円	件	円
		1,722	9,922,681	1,681	10,380,369
	過 年 度 分	件	円	件	円
	504	2,340,601	588	2,921,104	
	計	件	円	件	円
		2,226	12,263,282	2,269	13,301,473
収 納 率	現 年 度 分	%		%	
		98.2		98.1	
	過 年 度 分	%		%	
		82.2		78.7	
	計	%		%	
		97.8		97.6	

4 平成 24 年度庄内町ガス事業会計

4-1 決算の状況《総括》

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入及び支出の決算状況は、決算報告書によれば、収入が 531,677,900 円で、支出が 501,503,107 円となっている。

また、これを損益計算書によれば、収入が 506,504,213 円、支出が 493,322,624 円で、収支差引 13,181,589 円の当年度純利益が生じている。

予算額に対する執行率は、収益的収入が 99.1%、収益的支出が 90.2%となっている。

上段：決算報告書による（消費税込み）

下段：損益計算書による（消費税抜き）（単位：円）

<収益的収支>

区 分		決 算 額	区 分	決 算 額	差 引 額	
収 益 的 収 入		531,677,900	収 益 的 支 出	501,503,107	30,174,793	
		506,504,213		493,322,624	13,181,589	
営 業 収 益	製 品 売 上	517,230,317	営 業 費 用	製 造 費	48,571,047	
		492,600,297			47,965,520	
	受 注 工 事 収 益	10,679,800		売 上 原 価	261,925,024	
		10,171,247			261,925,024	
	器 具 販 売 収 益	191,310		供 給 販 売 及 び 一 般 管 理 費	173,118,408	
		182,200			171,796,776	
	そ の 他 営 業 雑 収 益	1,620,063		受 注 工 事 原 価	10,572,885	
		1,619,660			10,069,436	
		器 具 販 売 減 価	208,950			
			199,000			
小 計		529,721,490	小 計		494,396,314	
		504,573,404			491,955,756	
営 業 外 収 益		1,956,410	営 業 外 費 用		7,106,793	
		1,930,809			1,366,868	
特 別 利 益		0	特 別 損 失		0	
		0			0	
差引当年度純利益			13,181,589			

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入及び支出の決算状況は、決算報告書によれば、収入が 1,116,466 円に対し、支出が 109,807,216 円となっており 108,690,750 円の収入不足額が生じている。

その不足額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,367,288 円、過年度分損益勘定留保資金 7,300,983 円、当年度分損益勘定留保資金 86,164,865 円及び建設改良積立金 11,857,614 で補てんされている。

予算額に対する執行率は資本的収入が 97.0%、資本的支出が 93.6%である。

<資本的収支>

決算報告書による (消費税込み)

(単位:円)

区 分	決算額	区 分	決算額	差引額
資 本 的 収 入	1,116,466	資 本 的 支 出	109,807,216	△108,690,750
負 担 金	1,116,466	建 設 改 良 費	70,761,813	
固定資産売却代金	0	企 業 債 償 還 金	39,045,403	
差 引 当 年 度 資 金 不 足 額			108,690,750	

4-2 損益計算書（消費税抜き）

損益計算書による総収益は506,504,213円で総費用は493,322,624円で差引13,181,589円の純利益が生じている。

<損益計算書>

(単位:円)

<収 益>			<費 用>		
1 営業収益		504,573,404	1 営業費用		491,955,756
製品売上	492,600,297		製造費	47,965,520	
受注工事収益	10,171,247		売上原価	261,925,024	
器具販売収益	182,200		供給販売及び 一般管理費	171,796,776	
その他営業 雑収益	1,619,660		受注工事原価	10,069,436	
			器具販売原価	199,000	
2 営業外収益		1,930,809	2 営業外費用		1,366,868
受取利息	345,680		支払利息	1,353,525	
雑収益	1,585,129		雑支出	13,343	
3 特別利益		0	3 特別損失		0
当年度純損失		—	当年度純利益		13,181,589
合 計		506,504,213	合 計		506,504,213

<比較損益計算書>

(単位：円、%)

区 分		平成24年度		平成23年度	
		金 額	対前年度 増減率	金 額	対前年度 増減率
経 常 損 益 の 部		13,181,589	751.5	1,548,069	△92.1
営 業 損 益 の 部		12,617,648	505.2	2,084,925	△90.7
営業 収益	ガ ス 売 上	492,600,297	0.1	492,305,899	△0.5
	受 注 工 事 収 益	10,171,247	13.0	9,003,839	22.2
	器 具 販 売 収 益	182,200	△2.5	186,800	78.8
	そ の 他 営 業 雑 収 益	1,619,660	△74.3	6,291,586	△40.1
	計	504,573,404	△0.6	507,788,124	△0.9
営業 費用	製 造 費	47,965,520	2.0	47,046,055	1.9
	売 上 原 価	261,925,024	3.1	253,962,100	13.5
	供 給 販 売 及 び 一 般 管 理 費	171,796,776	△12.1	195,548,725	△8.2
	受 注 工 事 原 価	10,069,436	12.9	8,917,919	22.3
	器 具 販 売 原 価	199,000	△12.9	228,400	130.7
	計	491,955,756	△2.7	505,703,199	3.2
営 業 外 損 益 の 部		563,941	205.0	△536,856	81.0
営業 外 収益	受 取 利 息	345,680	648.0	46,215	△78.4
	雑 収 益	1,585,129	△3.3	1,638,579	873.9
	計	1,930,809	14.6	1,684,794	340.3
営業 外 費用	支 払 利 息	1,353,525	△39.1	2,221,650	△30.8
	雑 支 出	13,343	皆増	0	—
	計	1,366,868	△38.5	2,221,650	△30.8
特 別 損 益 の 部		0	—	0	—
特 別 利 益		0	—	0	—
特 別 損 失		0	—	0	△100.0
総 収 益		506,504,213	△0.6	509,472,918	△0.7
総 費 用		493,322,624	△2.9	507,924,849	2.9
当 年 度 純 利 益		13,181,589	751.5	1,548,069	△92.1

4-3 資本的収入及び支出（消費税込み）

資本的収支の状況を見ると、収入は1,116,466円で工事負担金となっている。支出は109,807,216円で、これは建設改良費と企業債償還金となっている。

<資本的収支の推移>

(単位：円、%)

年度 区分		平成24年度		平成23年度	
		金額	構成比	金額	構成比
資本的収入	負担金	1,116,466	100.0	2,448,550	100.0
	企業債	0	0.0	0	0.0
	固定資産売却代金	0	0.0	0	0.0
	補助金	0	0.0	0	0.0
	計	1,116,466	100.0	2,448,550	100.0
資本的支出	建設改良費	70,761,813	64.4	56,369,854	55.5
	企業債償還金	39,045,403	35.6	45,241,350	44.5
	計	109,807,216	100.0	101,611,204	100.0
差	引	△108,690,750		△99,162,654	

建設改良費の主なものは中低圧管関連工事であり、導管工事延長は2,996.6m、ガバナールーム工事関係10件となっている。

<主な建設改良工事関係>

(単位：件、m、円)

分類	件数	延長	工事費
中低圧管入替工事	11	2,194.8	38,339,750
中圧管移設工事	1	58.1	1,470,000
低圧管新設工事	3	344.2	9,350,294
供給管新設工事	1	399.5	11,029,319
ガバナールーム建替工事	8	—	8,073,450
ガバナールーム新設工事	2	—	2,499,000
計	26	2,996.6	70,761,813

4-4 業務実績と経営分析

(1) 業務実績

業務実績は、減少傾向にある。

<業務実績の推移>

対前年度増減率 (単位：%)

年 度		単 位	平成 24 年度	平成 23 年度	対前年度 増 減 率	備 考	
区 分							
供 給 件 数		件	6,385	6,408	△0.4		
送 出 ガ ス 量	年間総送出ガス量	m ³	4,117,048	4,157,128	△1.0		
	有効 ガス 量	有 収 ガ ス 量	m ³	4,242,764	4,280,235	△0.9	
		自 家 使 用 量	m ³	13,104	11,499	14.0	
	勘 定 外 ガ ス 量	m ³	△138,820	△134,606	△3.1		
	1 日 平 均 送 出 ガ ス 量	m ³	11,280	11,358	△0.7		
	1 日 最 大 送 出 ガ ス 量	m ³	2/21 19,206	2/8 19,306	△0.5		
	1 件 1 カ 月 平 均 送 出 ガ ス 量	m ³	53.7	54.1	△0.7		
	1 日 平 均 有 収 ガ ス 量	m ³	11,624	11,695	△0.6		
導 管 延 長		m	249,737	249,955	△0.1		
職 員 数 (損益勘定所属)		人	9	11	△18.2		

(2) 経営分析

<施設の効率性>

区 分			平成 24 年度	平成 23 年度
有 収 率	%	(年間総有収量 / 年間総送出力) × 100	103.1	103.0
負 荷 率	%	(1日平均送出力 / 1日最大送出力) × 100	58.7	58.8
施 設 利 用 率	%	(1日平均送出力 / 1日最大供給量) × 100	41.8	42.1
最 大 稼 働 率	%	(1日最大送出力 / 1日最大供給量) × 100	71.1	71.5
導 管 使 用 効 率	m ³ /m	年間総送出力 / 導管延長	16.5	16.6
固定資産使用効率	m ³ /万円	年間総送出力 / 有形固定資産	27.7	27.6

※1日最大供給量=27,000 m³

(庄内町公営企業の設置等に関する条例より)

<職員1人当たりの営業実績>

区 分			平成 24 年度	平成 23 年度
有 収 ガ ス 量	m ³	年間総有収量 / 損益勘定所属職員数	471,418	389,112
営 業 収 益	千 円	営業収益 / "	56,064	46,163
1 日 平 均 有 収 量 1 万 m ³ 当 たり 職 員 数	人	職員数 × 10,000 / 1日平均有収量	7.7	9.4

<供給単価と供給原価の比較>

区 分			平成 24 年度	平成 23 年度
供 給 単 価	円	ガス売上 / 年間総有収ガス量	116.10	115.02
供 給 原 価	円	(費用 - 受注工事原価等) / 年間総有収ガス量	113.85	116.53
供 給 単 価	円	供 給 原 価	2.25	△1.51

(3) 費用分析

供給ガス原価1 m³当たりの費用構成を見ると、職員給与費が15.21円で構成比は13.36%となっている。固定資産に関する費用は、支払利息が0.32円で構成比は0.28%、減価償却費が20.10円で構成比は17.65%、売上原価が61.73円で構成比は54.22%であり、費用全体では1 m³当たりの供給原価は113.85円となっている。

<供給ガス原価1 m³当たり費用構成>

(単位：円、%)

年 度 区 分		平成24年度			平成23年度		
		費 用	構成比	供給原価 (1 m ³ 当)	費 用	構成比	供給原価 (1 m ³ 当)
職 員 給 与 費	基 本 給	32,169,732	6.66	7.58	40,907,472	8.20	9.56
	手 当	15,346,716	3.18	3.62	19,905,400	3.99	4.65
	法 定 福 利 費	17,022,481	3.52	4.01	22,051,296	4.42	5.15
	計	64,538,929	13.36	15.21	82,864,168	16.61	19.36
固 定 資 産 費	支 払 利 息	1,353,525	0.28	0.32	2,221,650	0.45	0.52
	(うち企業債利息)	(1,353,525)	(0.28)	(0.32)	(2,221,650)	(0.45)	(0.52)
	減 価 償 却 費	85,266,678	17.65	20.10	94,634,946	18.97	22.11
	資 産 減 耗 費	4,866,605	1.01	1.15	1,518,671	0.30	0.35
	計	91,486,808	18.94	21.57	98,375,267	19.72	22.98
	賃 金	6,499,532	1.35	1.53	6,369,782	1.28	1.49
	委 託 料	11,603,023	2.40	2.73	11,908,366	2.39	2.79
	電 力 料	3,013,615	0.62	0.71	2,774,715	0.56	0.65
	修 繕 費	23,452,970	4.86	5.53	24,089,203	4.83	5.63
	賃 借 料	1,253,690	0.26	0.30	805,457	0.16	0.19
	そ の 他	19,280,597	3.99	4.54	17,629,472	3.53	4.11
	売 上 原 価	261,925,024	54.22	61.73	253,962,100	50.92	59.33
	費 用 合 計	483,054,188	100.0	113.85	498,778,530	100.0	116.53

※費用に受注工事原価、器具販売原価、材料売却原価、附帯事業費、特別損失は含まない。

4-5 貸借対照表

(1) 資産

資産合計は1,804,904,561円となっており、このうち固定資産合計は1,484,118,952円で、流動資産は320,785,609円となっている。

<貸借対照表及び構成比率>

(単位：円、%)

年 度 科 目	平成24年度		平成23年度		対前年度 増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比	
土 地	17,612,774	1.0	17,612,774	1.0	0.0
建 物	103,599,926	5.7	104,637,996	5.8	△1.0
構 築 物	10,322,154	0.6	11,132,450	0.6	△7.3
機 械 及 び 装 置	109,899,395	6.1	119,723,505	6.6	△8.2
導 管	1,238,670,373	68.6	1,245,358,013	69.0	△0.5
ガスメーター	75,951	0.0	75,951	0.0	0.0
車 輛 運 搬 具	802,468	0.0	2,058,643	0.1	△61.0
工具器具及び備品	3,025,311	0.2	4,419,820	0.3	△31.6
電 話 加 入 権	110,600	0.0	110,600	0.0	0.0
建 設 仮 勘 定	0	0.0	0	0.0	—
固 定 資 産 合 計	1,484,118,952	82.2	1,505,129,752	83.4	△1.4
現 金 ・ 預 金	298,884,515	16.6	271,381,277	15.0	10.1
未 収 金	14,371,706	0.8	21,018,061	1.1	△31.6
貯 蔵 品	6,171,307	0.3	6,749,687	0.4	△8.6
製 品	1,358,081	0.1	1,352,243	0.1	0.4
流 動 資 産 合 計	320,785,609	17.8	300,501,268	16.6	6.8
資 産 合 計	1,804,904,561	100.0	1,805,631,020	100.0	0.0

(2) 負債

負債合計は109,863,196円である。

(3) 資本

資産合計から負債合計を差し引いた正味財産（資本合計）は、1,695,041,365円で補助金は前年同様である。

当年度純利益 13,181,589 円に前年度繰越利益剰余金 2,381,469 円を加え、当年度未処分利益剰余金 15,563,058 円が計上されている。

(単位：円、%)

年度 科目	平成24年度		平成23年度		対前年度 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
修繕引当金	33,424,764	1.9	24,924,764	1.4	34.1
未払金	75,747,532	4.2	60,611,772	3.4	25.0
前受金	670,802	0.0	281,742	0.0	138.1
預り金	20,098	0.0	24,029	0.0	△16.4
負債合計	109,863,196	6.1	85,842,307	4.8	28.0
自己資本金	210,631,097	11.7	198,773,483	11.0	6.0
企業債	44,438,823	2.5	83,484,226	4.6	△46.8
補助金	1,980,239	0.1	1,980,239	0.1	0.0
負担金	892,302,826	49.4	891,186,360	49.4	0.1
受贈財産評価額	1,713,745	0.1	1,713,745	0.1	0.0
減債積立金	19,000,000	1.1	19,000,000	1.0	0.0
建設改良積立金	509,411,577	28.2	521,269,191	28.9	△2.3
前年度繰越利益剰余金	2,381,469	0.1	833,400	0.0	185.8
当年度純利益	13,181,589	0.7	1,548,069	0.1	751.5
資本合計	1,695,041,365	93.9	1,719,788,713	95.2	△1.4
負債資本合計	1,804,904,561	100.0	1,805,631,020	100.0	0.0

4-6 ガス事業財務分析

自己資本構成比率は、数値が高いほど経営の安定性を示すとされており、23年度より0.9ポイント改善している。また、借入資本金構成比率は2.1ポイント改善している。

事業の安全性を示す指標である固定比率は23年度より2.1ポイント改善している。

事業の収益性を表すとされる営業収益対営業費用比率は23年度より2.2ポイント、総収支比率は、23年度より2.4ポイント改善している。

財務の健全性、及び事業の安全性は、いずれも安定して推移し、事業の収益性は上昇している。

<財務分析比率の推移>

(単位：%)

分析項目		算式	平成24年度	平成23年度
財務 の 健 全 性	自己資本構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$	91.5	90.6
	自己資本金構成比率	$\frac{\text{自己資本金}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$	11.7	11.0
	借入資本金構成比率	$\frac{\text{借入資本金}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$	2.5	4.6
事業 の 安 全 性	流動資産対固定資産比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{固定資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	21.6	20.0
	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	89.9	92.0
	固定資産対長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$	85.9	86.3
	負債比率	$\frac{\text{負債}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	6.7	5.2
	流動負債比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	4.6	3.7
事業 収 益 性	営業収益対営業費用比率	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	102.6	100.4
	総収支比率	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	102.7	100.3
そ の 他	利子負担率	$\frac{\text{支払利息}}{\text{借入金} + \text{借入資本金}} \times 100$	3.0	2.7
	企業債償還元金対減価償却費比率	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却額}} \times 100$	45.8	47.8

【資 料】

ガス料金の収納状況

(単位：円)

項 目		平成24年度		平成23年度	
調 定 額	現 年 度 分	517,230,317		516,921,158	
	過 年 度 分	13,821,086		14,718,348	
	計	531,051,403		531,639,506	
収 入 済 額	現 年 度 分	506,305,332		505,938,760	
	過 年 度 分	11,634,147		11,879,660	
	計	517,939,479		517,818,420	
不 納 欠 損 額		件 0	円 0	件 0	円 0
未 収 入 額	現 年 度 分	件 1,510	円 10,924,985	件 1,521	円 10,982,398
	過 年 度 分	件 345	円 2,186,939	件 421	円 2,838,688
	計	件 1,855	円 13,111,924	件 1,942	円 13,821,086
収 納 率	現 年 度 分	%		%	
	過 年 度 分	97.9		97.9	
	計	%		%	
		84.2		80.7	
		%		%	
		97.5		97.4	

5 水道事業のむすび

(1) 事業の概要

平成24年度の給水人口は21,777人で、前年度比較271人減少しており、給水戸数では、6,608戸であり前年度比較3戸の減少となっている。また、給水件数は7,440件で前年度比較28件の減少となっている。

なお、給水人口における普及率は98.8%で0.1ポイント増加となっている。

平成24年度の業務量は総配水量2,857,648 m^3 で前年度比較51,103 m^3 減少しており、有収水量は2,573,527 m^3 で前年度比較3,307 m^3 の増加となっている。

なお、有収率は90.1%で前年度比較1.7ポイント増加している。

(2) 経営の状況

収益的収入は538,485千円で前年度比較では363千円で0.1%減少し、収益的支出は511,190千円で前年度比較2,479千円の0.5%増加している。

結果、収支差引で27,295千円の純利益となっている。

資本的収入は73,229千円で予算執行率100.0%となっており、資本的支出は233,529千円で予算執行率97.2%であり、支出は、建設改良費115,580千円であり、企業債償還金117,949千円となっている。

なお、収入額が支出額に不足する額160,300千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額5,494千円、過年度分損益勘定留保資金36,429千円及び当年度分損益勘定留保資金118,377千円で全額補てんされている。

(3) 営業成績

営業収益は535,291千円で、前年度比較1,622千円の減少し、内給水収益は522,388千円で、前年度比較2,871千円の減少となっており、その他営業収益が12,903千円で前年度比較1,249千円増加している。

一方、営業費用は、463,275千円で前年度比較5,085千円増加し、内、原水費が204,125千円で前年度比較2,425千円減少となっており、減価償却費が126,787千円で前年度比較3,435千円減少し、資産減耗費は13,307千円で前年度比較3,060千円増加している。配水及び給水費が81,727千円で、前年度比較4,136千円減少、総係費は37,330千円で前年度比較12,022千円増加してい

る。

営業収益－営業費用で 72,016 千円収益となっており、営業外収益 3,168 千円と営業外費用 47,764 千円、特別利益 25 千円と特別損失 150 千円を加味し当年度純利益は 27,295 千円となっている。

(4) 総括

平成 24 年度水道事業会計決算は、給水人口や給水戸数・件数が減少するなかで、損益計算書に示すとおり 27,295 千円（前年度増減率△9.4%）の当年度純利益となっている。

今年度、合併時より目標であった有収率 90%を達成したことは評価できるものであり、今後も維持されることを期待するものである。

また、自主財源の確保として、定期預け入れによる受取利息が大幅増加したことも、併せて評価できるものであり、今後も継続した対応を望むものである。

なお、本年は事業の収益性や供給単価が低下していることに十分注意しながら、今後も収納率の更なる向上への努力はもとより、一層の費用の削減や計画的な老朽管入替工事等、計画・目標を明確にしながらか改善に取り組むことが必要と考えるものである。

6 ガス事業のむすび

(1) 事業の概要

平成24年度ガス事業は、供給区域内戸数7,159戸で、前年度比較13戸減少しており、供給件数では6,385件で、前年度比較23件の減少である。合併以来供給件数の減少傾向が続いている状況である。

平成24年度販売ガス量は4,242,764^m³であり、前年度比較37,471^m³の減少である。有収率では103.1%で前年度比較0.1ポイント増加している。

(2) 経営の状況

収益的収支は収入が506,504千円で、前年度比較2,969千円減少し、支出は493,323千円で前年度比較14,602千円の減少となっており、収支差引では13,181千円の純利益となっている。

資本的収支は、収入が1,116千円で予算執行率97.0%となっており、全額工事負担金である。支出は109,807千円で予算執行率93.6%となっており、内訳は企業債償還金39,045千円と建設改良費70,762千円となっている。

資本的収入が資本的支出に不足する額108,691千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額3,367千円、過年度分損益勘定留保資金7,301千円、当年度分損益勘定留保資金86,165千円及び建設改良積立金11,858千円で全額補てんされている。

(3) 営業成績

営業収益は504,573千円で、前年度比較3,215千円の0.6%減少であり、内ガス売上が492,600千円で前年度比較294千円の増加となっており、受注工事収益10,171千円で前年度比較1,167千円増加、器具販売収益182千円で前年度比較5千円減少、その他営業雑収益が1,620千円で前年度比較4,672千円の減少している。ガス事業収益は506,504千円で前年度比較2,969千円減少となっている。

一方、営業費用491,956千円で前年度比較13,747千円減少し、内製造費が47,966千円で前年度比較920千円増加となり、売上原価が261,925千円で前年度比較7,963千円増加となっており、供給販売及び一般管理費が171,797千円で前年度比較23,752千円減少し、受注工事原価は10,069千円で前年度比較1,151千円増加、器具販売原価199千円で前年度比較29千円減少している。

また、ガス費用は493,323千円で前年度比較14,602千円の2.9%減少している。

営業収益－営業費用では12,617千円の収益となっており、営業外収益1,931千円と、営業外費用1,367千円を加味した事業収益対事業費用では13,181千円の当年度純利益となっている。

(4) 総括

平成24年度ガス事業会計決算は、合併以来続く供給件数や販売ガス量の減少傾向のなかで、当年度純利益が前年度比較で大幅増額し、1 m³当たり損益もプラスに転じたが、職員2人を水道事業会計へ異動したことが大きな要因と思われ、2事業会計を持つ本町の補完しあえる特徴が発揮されたものと思われる。

なお、自主財源の確保として、定期預け入れによる受取利息の大幅増加などがあり経営努力がみられるが、石油石炭税の段階的な増額や原料費の値上がりにより、経営環境は今後ますます厳しくなることが予測されることから、現年度分の収納率の向上や費用削減など、今後も引き続きの努力を求めるものである。